



© 磐田市  
磐田市イメージキャラクター  
ひっぺい

# 台風第15号災害対応報告書

---



磐田市

令和5年3月

# 目次

---

1	はじめに	P3
2	令和4年9月23日 台風第15号の概要	P4
3	配備体制	P8
4	避難情報	P9
5	避難者情報	P10
6	被災の概要	P11
7	市内の浸水状況	P14
8	磐田市の対応	P17
9	被災者生活支援	P23
10	主な課題と改善策	P26
	【参考資料】	
	復旧状況及び改修計画(静岡県、磐田市)	P31

# 1 はじめに

---

昨年9月の台風第15号による記録的な大雨は、河川堤防の決壊や越水、内水氾濫などによる浸水被害、豊岡地区においては甚大な土砂災害を引き起こしました。

この災害により被災された多くの皆様に心からお見舞い申し上げます。

豊岡地区では、令和4年9月23日の降り始めからの累加雨量が、豊岡支所に設置した雨量計で、336.5mmの記録的な大雨となり、土砂崩れや家屋等への浸水被害が発生しました。市内全域では、住宅等の被害は800件を超え、道路や河川、農地や農業施設等も被災し、現在も復旧工事が進められています。

災害発生当初から、警察、消防団、自主防災会の懸命な活動に支えられながら、土砂の除去、建物の消毒、災害ごみの処理などの被災者支援を行って参りました。

また、社会福祉協議会の協力のもと、災害ボランティアセンターを早期に立ち上げ、市内外から集まった多くのボランティアの方々の力で、自力で復旧できない方への支援を行っていただきました。

今回の災害では、夜間の大雨ということもあり、市内の状況を把握するための情報収集が大きな課題であると改めて実感しました。その他にも、緊急避難場所のあり方など、今回の検証により明らかになった様々な課題を早期に改善し、市民の皆様への安全・安心につなげていきたいと思っております。

復旧工事は来年度以降も続きます。市としては、「防災」「減災」の取り組みを一層強化し、市民の皆様と一体となった平時からの「備え」について重点的に取り組んで参りますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年3月9日

磐田市長 草地 博昭



## 2 令和4年9月23日 台風第15号の概要

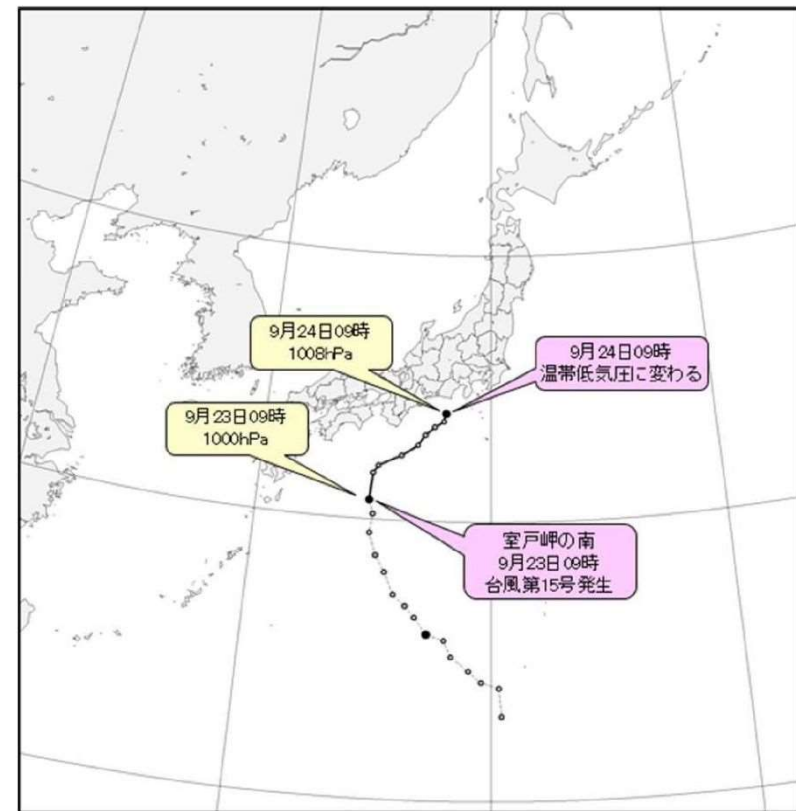
### (1) 気象概要【気象庁発表】

9月23日9時頃に室戸岬の南約300kmで発生した台風第15号は北から北東へと進路をかえながら進み、24日9時には東海沖で温帯低気圧に変わった。

静岡県では、台風の接近により非常に湿った南風が強まって大気の状態が不安定となり、さらに沿岸に沿って発生した局地的な前線で雨雲が発達し、猛烈な雨となった。これに加えて台風の動きが比較的ゆっくりであったため、同じ地域に猛烈な雨が降る状況が継続し、当初の予想を上回る記録的な大雨となった。西部では23日夜のはじめ頃から24日未明にかけて、中部では23日夜遅くから24日明け方にかけて猛烈な雨が降り、記録的短時間大雨情報（1時間に110ミリ以上の雨）を16回発表した。これにより、複数の観測点において1, 3, 6, 12, 24, 48時間降水量で観測史上1位の値を更新した。その後、雨は東部、伊豆へと移動し、24日未明から昼前にかけて猛烈な雨や非常に激しい雨となった。

また、9月23日21時10分頃御前崎市から牧之原市にかけて発達した積乱雲が通過したことで突風が発生して、家屋倒壊などの被害があった。

○台風経路図（日時、中心気圧（hPa））（速報解析）



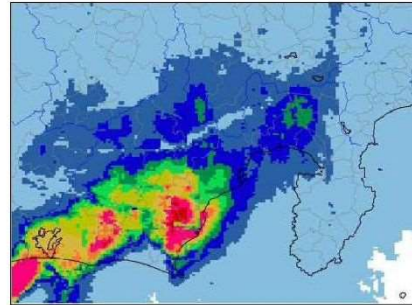
※「令和4年度台風第15号に関する静岡県気象速報」R4. 9. 29静岡地方気象台

## 2 令和4年9月23日 台風第15号の概要

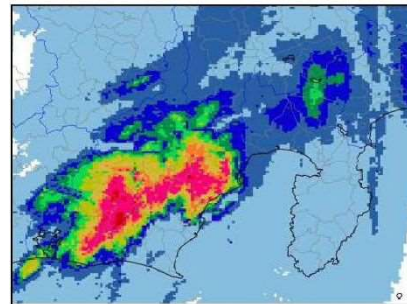
○解析雨量 (1時間値)



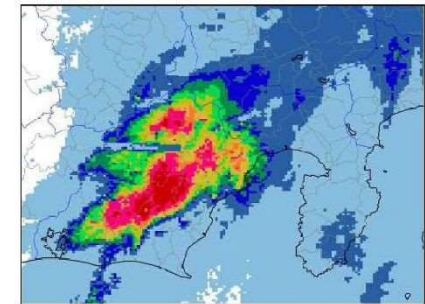
9月23日 21時



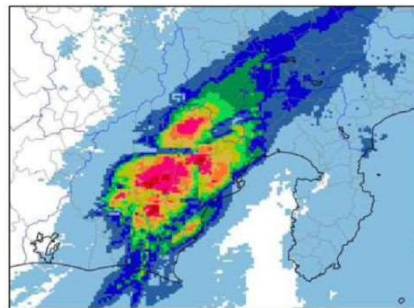
9月23日 22時



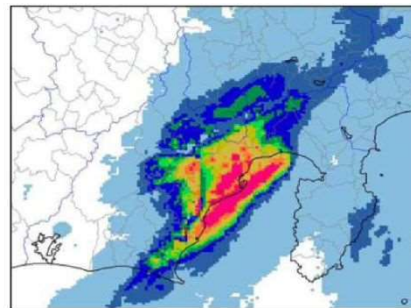
9月23日 23時



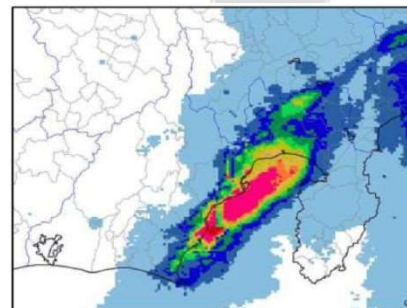
9月24日 00時



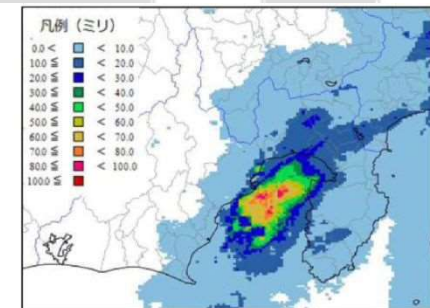
9月24日 01時



9月24日 02時



9月24日 03時



9月24日 04時



## 2 令和4年9月23日 台風第15号の概要

### (2) 気象情報、雨量情報及び河川水位等

#### ① 気象情報

種 類	発令日時
大雨警報(浸水害)	9/23 18:31
大雨警報(土砂災害、浸水害)	19:00
洪水警報	19:19
土砂災害警戒情報	19:43
記録的短時間大雨情報	21:59
顕著な大雨に関する気象情報(線状降水帯)	22:49

#### ② 雨量情報 (最大時間雨量/累加雨量)

磐田本庁 77.5mm/289.0mm  
福田支所 63.0mm/210.5mm  
竜洋支所 81.5mm/230.0mm  
豊田支所 82.0mm/291.0mm  
豊岡支所 90.0mm/336.5mm

※昭和49年七夕豪雨 一雲済川流域総雨量 270.5mm (静岡県統計資料)



## 2 令和4年9月23日 台風第15号の概要

### ③ 河川情報

河川名	観測所	氾濫危険水位		最高水位	
		水位 (m)	到達時間	水位 (m)	到達時間
敷地川	笠梅橋	5.84	21 : 30	7.78	0 : 20
今ノ浦川	今之浦橋	3.6	21 : 50	3.73	22 : 20
太田川	新貝	4.6	23 : 00	6.19	1 : 40



### 3 配備体制

令和4年9月23日（金）

19：01 事前配備体制 （レベル2） 配備

19：58 災害警戒本部体制 （レベル3） 移行

21：30 災害対策本部体制 I （レベル4） 移行

令和4年9月24日（土）

17：00 災害対策本部体制 I （レベル4） 廃止





## 4 避難情報

同報無線、緊急メール、LINEを用いて避難情報を発令

- 21:10 警戒レベル3 高齢者等避難 (全域<土砂災害>)
- 22:00 警戒レベル4 避難指示 (今ノ浦川、敷地川流域)
- 22:40 警戒レベル4 避難指示 (全域<浸水>)
- 23:45 警戒レベル5 緊急安全確保 (敷地川流域)



## 5 避難者情報

### 【磐田地区】 253人

城山中学校 : 60人	磐田北小学校 : 6人	ワークピア磐田 : 35人
総合体育館 : 15人	磐田第一中学校 : 3人	磐田中部小学校 : 20人
磐田南小学校 : 2人	長野小学校 : 3人	西貝交流センター : 4人
神明中学校 : 28人	田原小学校 : 10人	南御厨交流センター : 4人
向笠小学校 : 22人	向陽中学校 : 35人	大藤小学校 : 5人
於保農村婦人の家(静岡産業大学) : 1人		

### 【福田地区】 24人

福田中学校 : 8人	福田小学校 : 9人	福田中央交流センター : 6人
豊浜小学校 : 1人		

### 【竜洋地区】 5人

竜洋東小学校 : 5人

### 【豊田地区】 10人

アミューズ豊田 : 5人 豊田南中学校 : 5人

### 【豊岡地区】 24人

豊岡北小学校 : 14人 豊岡南小学校 : 4人 豊岡南部会館 : 1人  
豊岡東交流センター : 5人

※自治会公会堂 笠梅 : 6人 新貝 : 1人 栗下 : 15人 合代島上 : 3人



## 6 被災の概要

### (1)人的被害

死者・行方不明者・負傷者なし

### (2)住家等被害

浸水被害 床上316件 床下524件

(主な地区：下野部、敷地、神増、平松、見付、今之浦、鳥之瀬)





## 6 被災の概要

### (3)公共施設等被害

河川被害：市管理 4 河川 11か所  
県管理 2 河川 10か所  
※敷地川、上野部川、一雲済川など

橋梁被災：2か所  
※下田橋、新屋橋

道路被災：市道 5 路線  
県道 1 路線  
※県道磐田天竜線、市道敷地4号線など

土砂崩れ：市道15か所  
県道 2 か所  
※県道磐田天竜線、市道敷地4号線など

農林業被害：農地233か所  
林道 7 路線  
農業用施設70か所  
※敷地地区農業集落排水など



敷地川下田橋



太田川新屋橋

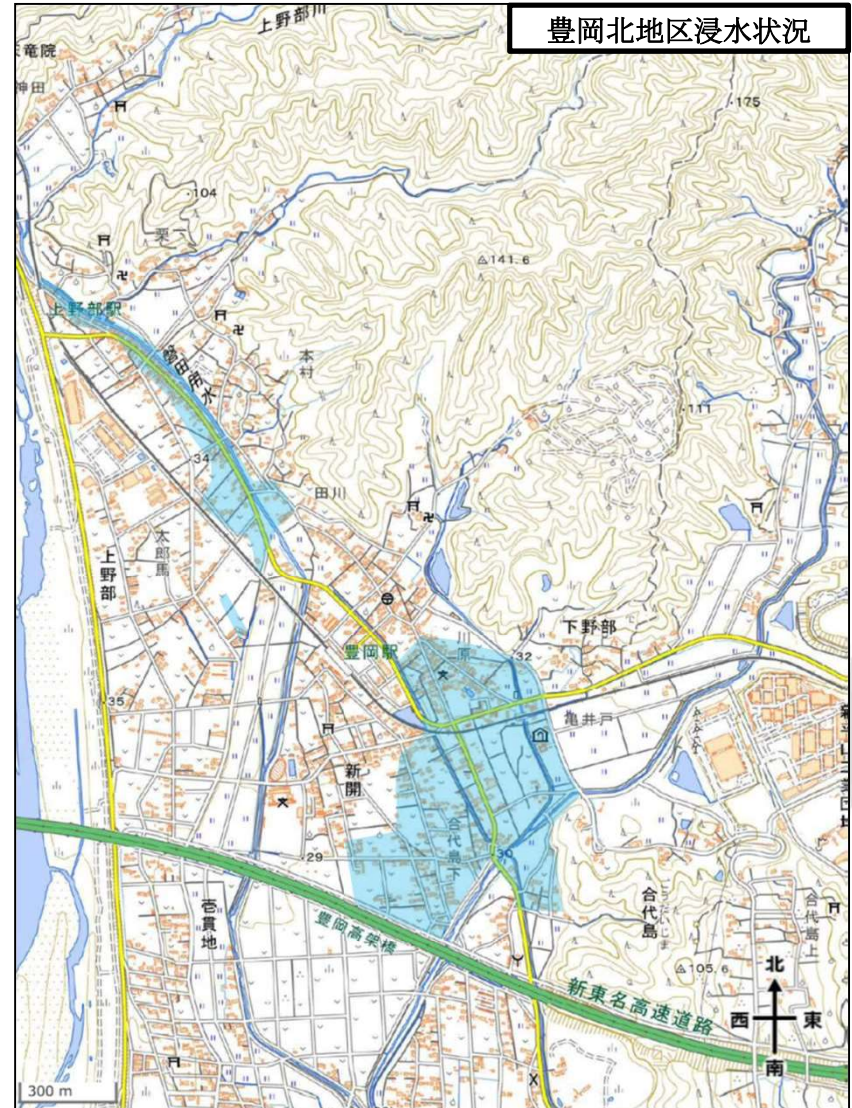
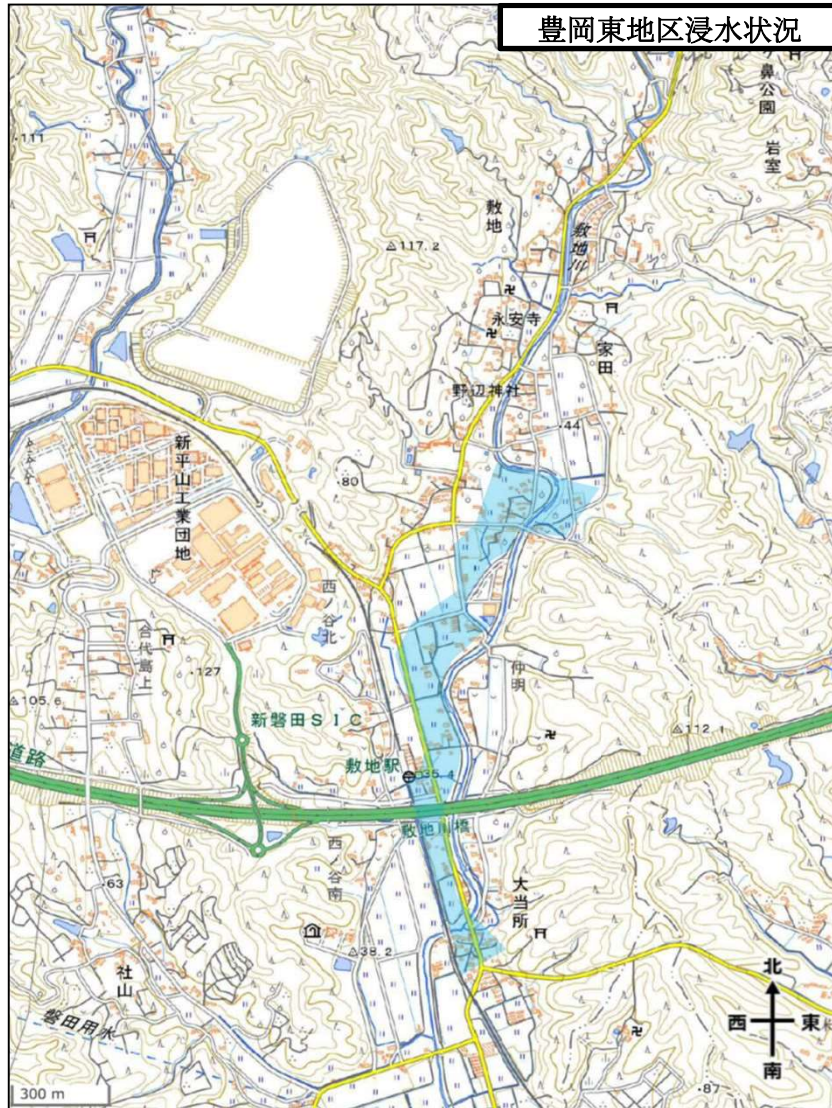


## 6 被災の概要



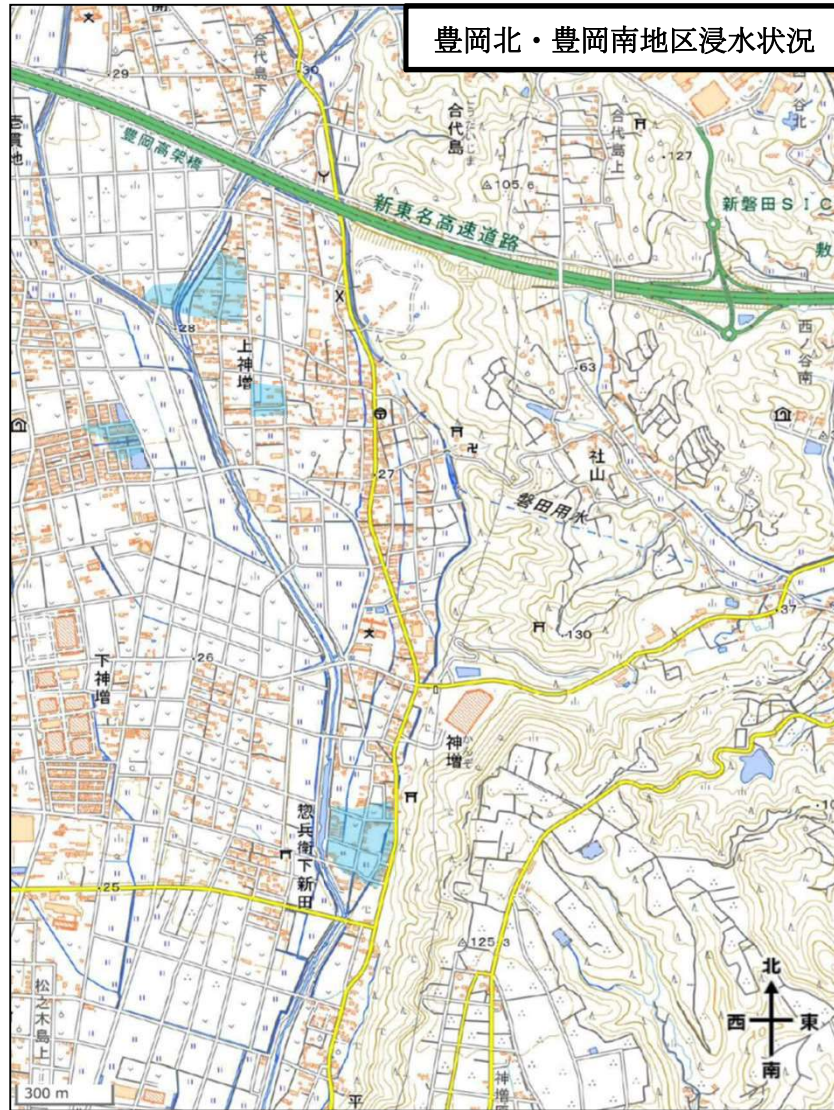


# 7 市内の浸水状況



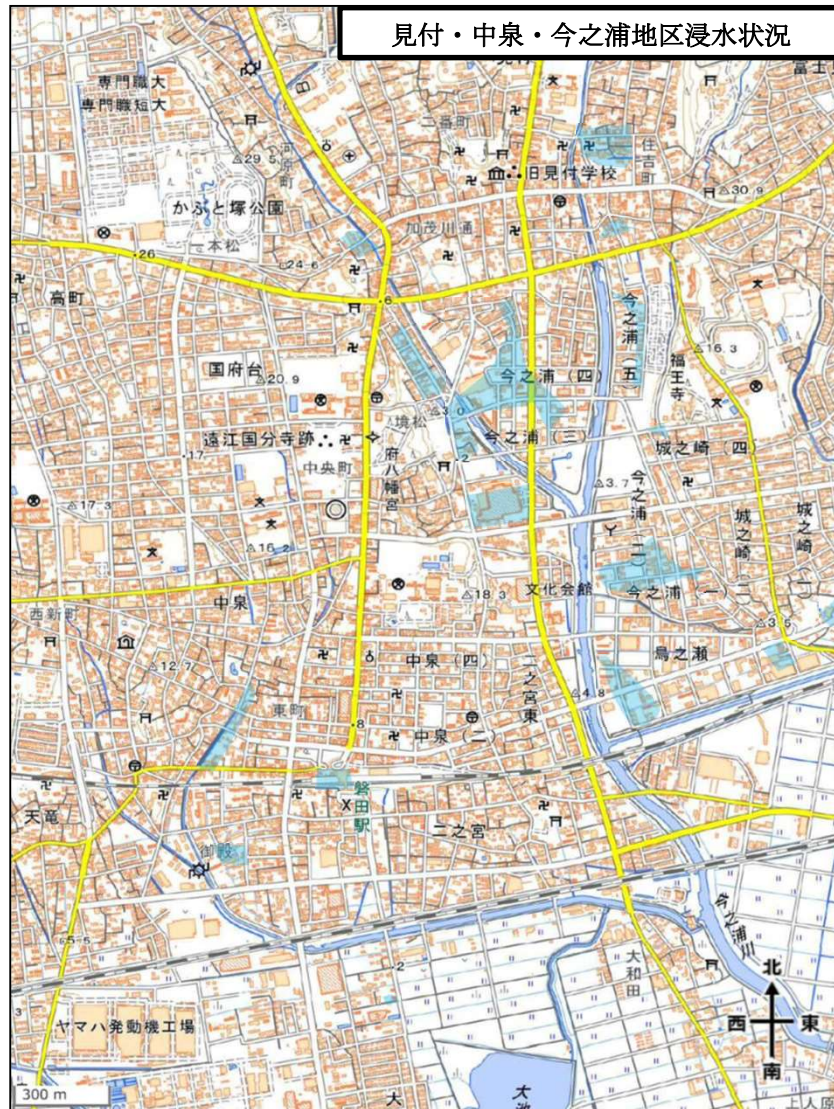


# 7 市内の浸水状況





# 7 市内の浸水状況



※主な浸水箇所のうち、罹災証明書交付状況にもとづき  
家屋の床上・床下浸水等のあった範囲を青で着色



## 8 磐田市の対応

### (1)会議

- ・ 災害対策本部会議 5 回開催 (9/23~24)
- ・ 復旧対策会議 10回開催 (9/25~10/14)
- ・ 災害復興支援会議 1 回開催 (10/18)
- ・ 災害復旧等対策連絡会 1 回開催 (2/9)

### (2)応急復旧と被災者支援の主な動き

9/24 (土)

- ・ 早朝より被害概要調査に着手
- ・ 磐田市クリーンセンターを臨時開場して災害ごみの受入れを開始

9/25 (日)

- ・ 被害状況を把握し早期の被災者支援を進めるため、復旧対策会議を設置

9/26 (月)

- ・ 生活再建の基となる罹災証明申請受付を開始
- ・ 災害ごみ仮置場を開設
- ・ 磐田市社会福祉協議会と共にボランティアセンターを開設
- ・ 災害協定締結事業者による土砂撤去を開始



## 8 磐田市の対応

9/27 (火)

- ・ 床上浸水被害にあった市民に対し、借上げ型応急住宅と住宅応急修理支援の受付開始

9/28 (水)

- ・ 被害の大きかった豊岡地区に対応するため豊岡支所内にワンストップ相談窓口開設
- ・ 床上浸水被害にあった市民への消毒液配布開始
- ・ 災害協定締結事業者による災害ごみ収集を開始

9/29 (木)

- ・ 個人宅の土砂撤去のための集積所を設置
- ・ 豊岡中央交流センターを一時的避難場所として開設

10/1 (土)

- ・ 神増、平松地区の支援のため、消防職員による現地調整本部を設置

10/4 (火)

- ・ 駒ヶ根市から被災家屋調査員として応援職員2名受入れ (第1陣)

10/11 (火)

- ・ 駒ヶ根市から被災家屋調査員として応援職員2名受入れ (第2陣)

10/14 (金)

- ・ 被災状況に応じた支援制度案内の送付を開始



ボランティア活動

## 8 磐田市の対応

---

10/18（火）

- ・被災者支援を後押しするため、災害復興支援会議を設置
- ・「太田川原野谷川関連緊急要望書」の提出に合わせ、市独自の「台風15号に伴う復旧促進等に関する要望」を県知事に提出

10/24（月）

- ・被災者のこころの不調に寄り添う支援として、民間企業と連携し、専門スタッフによるオンラインカウンセリングを開始

10/25（火）

- ・被災者への継続的な支援のため、「いわた安心つなげる隊」を立ち上げ、世帯訪問を開始

11/4（金）

- ・被災者向け支援制度一覧パンフレットを作成

12/4（日）

- ・磐田市地域防災訓練（本部運営訓練）にて、台風第15号の対応検証を実施

12/9（金）

- ・被災した事業者を対象に、市独自の「事業継続支援金」を創設

2/9（木）

- ・災害復旧等対策連絡会を開催し、市・県のインフラ整備の進捗と計画を確認

## 8 磐田市の対応 (3/3現在)

### (3)罹災、被災証明書交付件数

種類	件数
罹災証明書	349件 (大規模半壊:1件 半壊:14件 準半壊:33件 一部損壊301件)
被災証明書	458件

### (4)災害ごみ処理状況

場所	数量
磐田市クリーンセンター(可燃ごみ)	約470t
中遠広域粗大ごみ処理施設(不燃ごみ)	約130t
民間処理施設(再資源化等)	約150t

- ・ 災害ごみ撤去に伴う事業者活動  
災害協定締結事業者 11事業者



家屋調査



## 8 磐田市の対応 (3/3現在)

### (5)土砂受入れ状況

場所	数量
豊岡総合センター駐車場	約200m <sup>3</sup>
天竜川河川敷	約9,800m <sup>3</sup>

### (6)道路・河川復旧作業事業者依頼件数

依頼件数	完了件数
530件	490件

※災害協定締結事業者含む40事業者

### (7)一般ボランティア受入れ状況

登録者	参加者
2,419件	1,614件

※団体登録は1件でカウント

### (8)消防団支援活動

活動者	414人
-----	------

## 8 磐田市の対応 (3/3現在)

### (9)住宅応急修理・住宅借上げ支援

	応急修理	住宅借上	障害物除去	
受付件数	18件	16件	5件(屋内)	27件(屋外)

### (10)寄附金、義援金

#### ・寄附金

寄附受付先	件数	金額
ふるさとチョイス	282件	4,809,490円
さとふる	165件	1,592,500円
浜松磐田信金、静岡銀行	53件	5,394,995円
現金持込	22件	2,212,584円
合 計	522件	14,009,569円

#### ・義援金

158件	12,051,872円
------	-------------

# 9 被災者生活支援

## (1)支援制度一覧

令和5年3月1日時点

No.	区分	罹災証明書等区分 支援制度	床上浸水・土砂					床下浸水		申請期限	問合せ先
			全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	一部損壊	一部損壊		
1	(1) 弔慰金・見舞金の支給	災害弔慰金の支給								当面の間	福祉課 ☎0538-37-4814
2		災害障害見舞金の支給								当面の間	
3		災害見舞金の支給	○	○	○	○	○	○		当面の間	
4		災害見舞金の支給 (日赤磐田市地区)	○	○	○	○	○	○		当面の間	
5		被災者生活再建支援金の支給	○	○	○	解体に限る				令和5年10月22日	
6		被災者生活再建支援金の支給 (市単独事業)				○				令和5年10月22日	
7	(2) 住宅に関する支援	住宅の応急修理	○	○	○	○	○			令和5年3月31日 ※完成期限	建築住宅課 ☎0538-37-2706
8		土砂など障害物の除去	○	○	○	○	○	○		令和5年3月31日 ※完成期限	
9		借上げ型応急住宅の提供	○	○	○	○	○	○		令和5年3月31日	建築住宅課 ☎0538-37-4851
10		床上浸水家屋用消毒液の配布	○	○	○	○	○	○		当面の間	環境課 ☎0538-37-2702
11	(3) 税・料等に関する支援	個人市県民税の減免 (所得金額による条件あり)	○	○	○	○	損害の程度により減免 になる場合あり		令和5年3月31日	市税課 ☎0538-37-4826	
12		固定資産税の減免	○	○	○	○			令和5年3月31日	市税課 ☎0538-37-4809	
13		国民健康保険税の減免	○	○	○	○	○	○	令和5年3月31日	国保年金課 ☎0538-37-4863	
14		後期高齢者医療保険料 の減免及び徴収猶予	○	○	○				令和5年3月31日		

# 9 被災者生活支援

## (1)支援制度一覧

15	(3) 税・料等に関する支援	介護保険料の減免・徴収猶予	○	○	○	○	○	○	△	令和5年3月31日	高齢者支援課 ☎0538-37-4769
16		介護保険サービス利用料の減免 (所得金額による条件あり)	○	○	○	○	損害の程度により減免 になる場合あり			令和5年3月31日	
17		障害福祉サービス利用料の減免	○	○	○	○	○	○	△	令和5年3月31日	福祉課 ☎0538-37-4919
18		障害児通所支援利用料の減免	○	○	○	○	○	○	△	令和5年3月31日	こども未来課 ☎0538-37-2761
19	(4) 教育に関する支援	放課後児童クラブ利用料 の減額又は免除	○	○	○	○	○	○	○	令和5年3月31日	放課後児童支援室 ☎0538-37-2773
20		幼稚園・保育園等の利用料 の減額又は免除	○	○	○	○	○	○	○	令和5年3月31日	幼稚園保育園課 ☎0538-37-2754
21	(5) 事業者等に関する支援	被災事業者事業継続支援金 の支給	事業用建物等に一定額以上の被害がある場合							令和4年12月12日～ 令和5年3月17日	産業政策課 ☎0538-37-4904
22		被災農業者事業継続支援金 の支給	△	△	△	△	△	△	△	△	令和5年1月4日～ 令和5年3月17日
23	(6) その他の支援	災害廃棄物の処理手数料免除	○	○	○	○	○	○	○	当面の間	ごみ対策課 ☎0538-35-3717
24		上下水道料金の減免	○	○	○	○	○	○	○	令和5年3月31日	上下水道料金センター ☎0538-58-3070
25		被服、寝具その他生活必需品 の給与又は貸与	○	○	○	○	○	○	△	当面の間	福祉課 ☎0538-37-4814
26		自家用車等被災者への タクシー助成券の交付	被災証明書に自家用車等の記載がある場合							令和5年3月31日	地域づくり応援課 ☎0538-37-4751



## 9 被災者生活支援

### (2) 「いわた安心つなげる隊」の活動

台風第15号の被災者に対し、継続的な支援を行っていくため、磐田市社会福祉協議会とともに、「いわた安心つなげる隊」を立ち上げ、全庁から職員を動員して被災者宅を訪問。体調や住まいの状況について実態把握を行った。

- ・ 調査日 : 令和4年11月21日～12月19日
- ・ 訪問世帯 : 床上浸水家屋の全世帯、床下浸水家屋のうち75歳以上の世帯  
自治会長や民生委員から訪問依頼があった世帯など225件
- ・ 訪問結果 : 訪問調査済154件 不在47件 退去済、更地外24件  
※不在世帯47件は、困りごとがあった場合などの連絡先を記した通知を送付済
- ・ 調査結果 : 訪問調査済の154件に対し、調査内容を確認  
通常見守り5件 不定期見守り25件 必要無し124件
- ・ 今後の対応 : 見守りが必要と判断した世帯は、相談機関や保健師等により見守りを継続している。

## 10 主な課題と改善策

---

### 危機管理ヒアリング等による振り返り

台風第15号対応の検証を進めるため、1月に全ての部局を対象に危機管理ヒアリングを実施した。また、12月の地域防災訓練において、災害対策本部及び各課にて検証を行った。

この中の反省点として、配備体制の理解不足による参集遅れや災害情報共有システム操作の未習熟、応援職員派遣の円滑化、ボランティア本部や自治会連合会、災害時応援協定締結先との連携強化が挙げられた。

また、評価できる点としては、ワンストップ窓口や災害ごみ仮置場の早期設置、被災者支援冊子の作成などが挙げられた。

以下、これらの反省点や評価できる点を参考として、主な課題と改善策について取りまとめを行った。

# 10 主な課題と改善策

## (1)本部運営

<p>課 題</p>	<p>①災害対応の各部（班）への明確な指示、応援体制の確立          ②市民への情報発信の内容とタイミング及び防災意識の啓発          ③発災当初の職員の参集状況の把握、被害情報の集約</p>
<p>改善策</p>	<p>①組織の再編と応援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部の情報収集班と整理班を統合し、情報収集班に再編（R4実施）</li> <li>・情報収集のため関係機関との連携構築（R4～5実施）</li> <li>・防災専門人材の任用（R5予算）</li> <li>・危機管理課内に自主防災会との連携強化を図るため防災対策グループを新設（R5実施）</li> <li>・受援計画策定（R4実施）</li> </ul> <p>②情報収集ツールの活用と発信タイミングの明確化、防災意識啓発の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを活用したSNS情報集約システムの試験導入（R5予算）</li> <li>・冠水センサーの試験導入（R5予算）</li> <li>・情報発信基準の作成（R4～5実施）</li> <li>・中小河川ハザードマップの作成（R6～7予算）</li> <li>・「わたしの避難計画」「マイタイムライン」作成講座の継続</li> </ul> <p>③災害情報共有システムの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作訓練の充実及び操作性向上のためのカスタマイズ（R5予算）</li> </ul>

# 10 主な課題と改善策

## (2)被災者支援

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>①発災当初の被害家屋等の把握方法や実施体制の明確化</li><li>②被災家屋台帳の共有化と被災者台帳の作成</li><li>③ボランティア受入れに関する社会福祉協議会との調整</li><li>④被災者健康支援調査の実施主体の決定</li></ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>①被害家屋等把握の基本的な事項の決定<ul style="list-style-type: none"><li>・被害概要調査のマニュアル化（R5実施）</li><li>・調査実施を主導する担当グループを明確化（R4実施）</li></ul></li><li>②被災者生活再建支援システムの導入（R5予算）<ul style="list-style-type: none"><li>・被害家屋調査及び被災者支援業務のシステム操作研修</li></ul></li><li>③ボランティアセンター運営マニュアルへの追加と修正（R5実施）</li><li>④健康支援調査実施基準を健康福祉部で検討（R5実施）</li></ul>



# 10 主な課題と改善策

## (3)現場対応

<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各部（班）ごとの職員参集基準の徹底</li> <li>②道路冠水の頻発箇所における車両水没防止</li> <li>③災害時応援協定事業者との円滑な連絡体制</li> <li>④インフラ施設等における減災対策</li> <li>⑤災害ごみ及び家屋等に流れ込んだ土砂の早期対応</li> <li>⑥復旧や減災にかかる関係機関との情報共有</li> </ul>
<p>改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①参集基準の全職員への周知徹底と防災研修（R4～5実施）</li> <li>②道路冠水頻発6路線へ注意看板を設置（R4実施）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・【再掲】SNS・AI情報集約システムと冠水センサーの試験導入（R5予算）</li> </ul> </li> <li>③応援協定事業者と協定に基づく運用調整に着手（R4実施）</li> <li>④河川や水路、森林の整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川等の堆積土砂の撤去（R4実施）</li> <li>・水路の嵩上げやバイパスの整備（R5予算）</li> <li>・倒木の撤去等の山地災害防止機能の向上（R5予算）</li> <li>・被災河川への監視カメラ等の設置（静岡県との調整により実施）</li> </ul> </li> <li>⑤災害ごみ仮置場用資機材の拡充（R5実施）             <ul style="list-style-type: none"> <li>土砂撤去の手順を広報いわた、市ホームページに掲載（R5実施）</li> </ul> </li> <li>⑥災害復旧等対策連絡会を開催（R4実施）             <ul style="list-style-type: none"> <li>（仮）仿僧川・今ノ浦川流域治水対策推進協議会の設立（R4実施）</li> </ul> </li> </ul>

## 10 主な課題と改善策

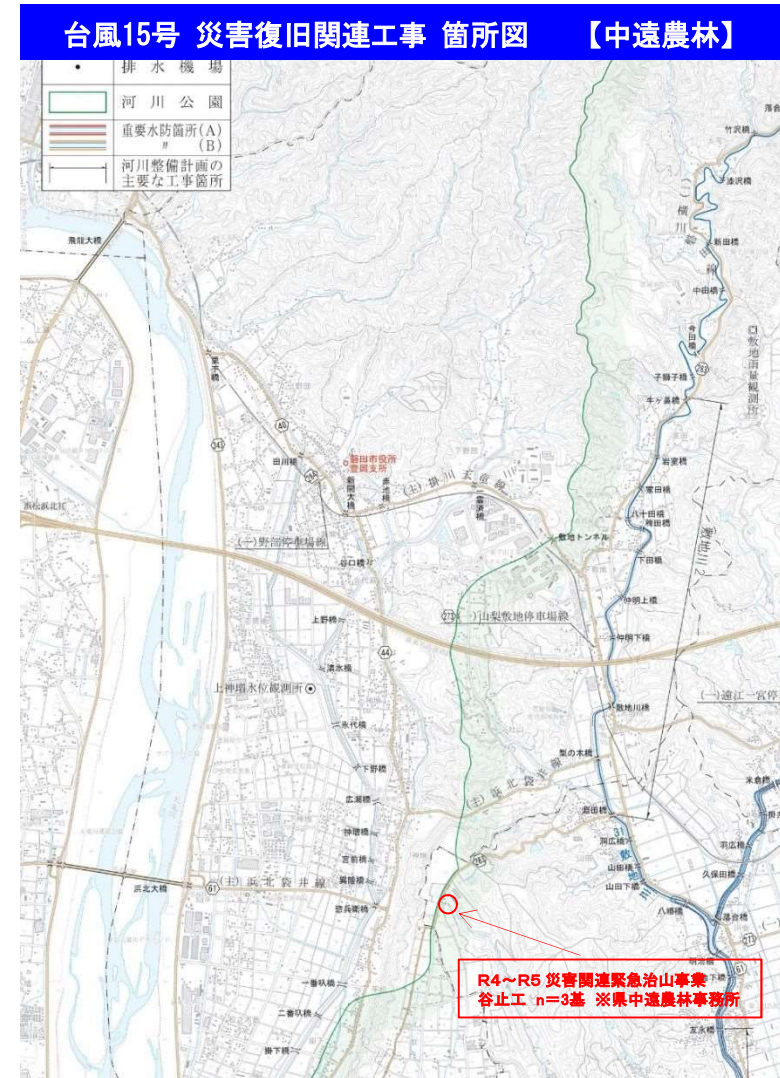
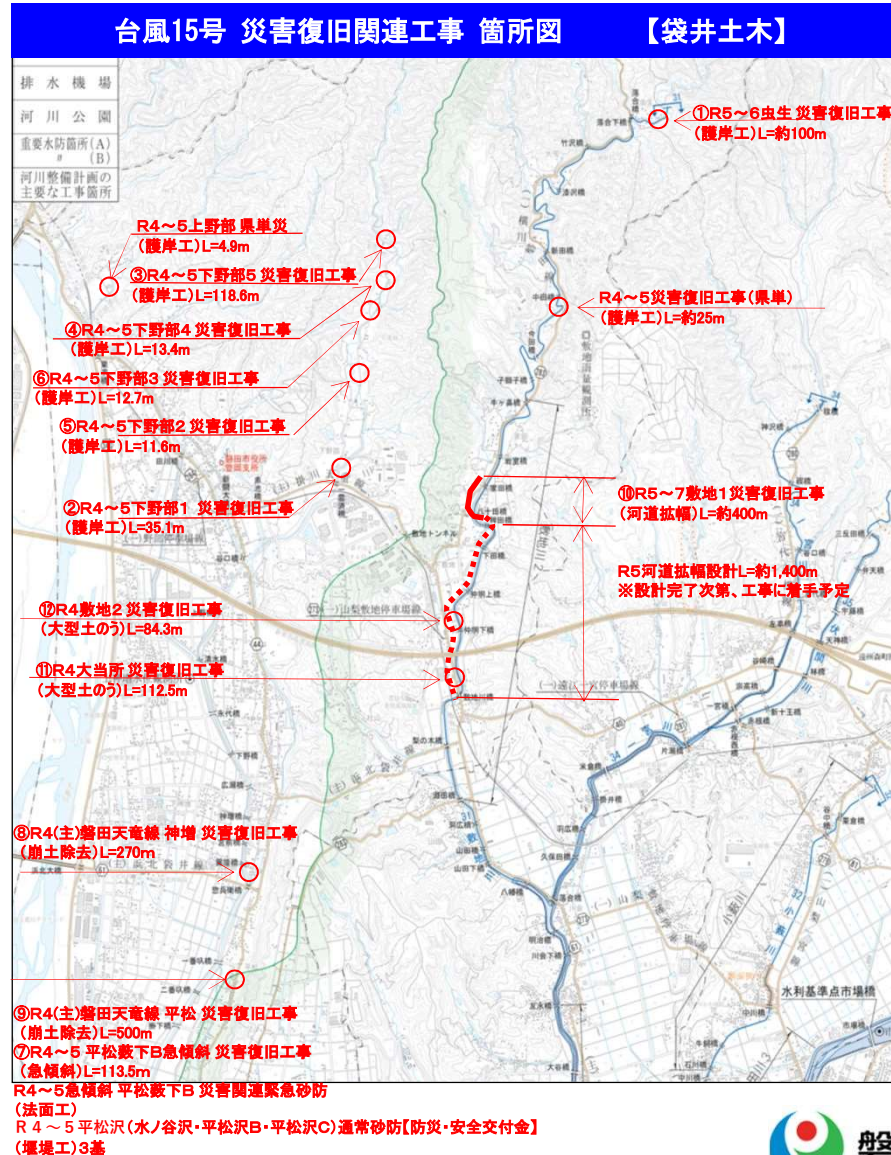
### (4)指定緊急避難場所対応

課 題	①避難場所となる学校施設の浸水被害対策 ②災害種類ごとに異なる避難場所 ③公会堂を開設する自治会の負担 ④車両の水没防止
改善策	①第一開放箇所を体育館から校舎に変更（R4実施） ②洪水、土砂災害、台風時の避難場所の検討（R5実施） ③自治会、自主防災会との協議（R5実施） ④車中避難場所の確保（R4～5実施） <ul style="list-style-type: none"><li>・高台避難場所について民間事業者と協議</li><li>・体育施設駐車場や公共施設駐車場の検討</li></ul>

### 今後の方針

この報告書では、台風第15号災害の対応における課題を挙げ、令和4年度～5年度に実施の改善策を中心に掲載している。しかし、防災は、過去からの積み上げに、さらに積み重ね、長期的に危機管理体制を強化することが重要となる。今後も施設の長寿命化、海岸堤防や幹線道路の整備なども含め、総合的な防災力の向上を目指し、各種取り組みを進めていくこととする。

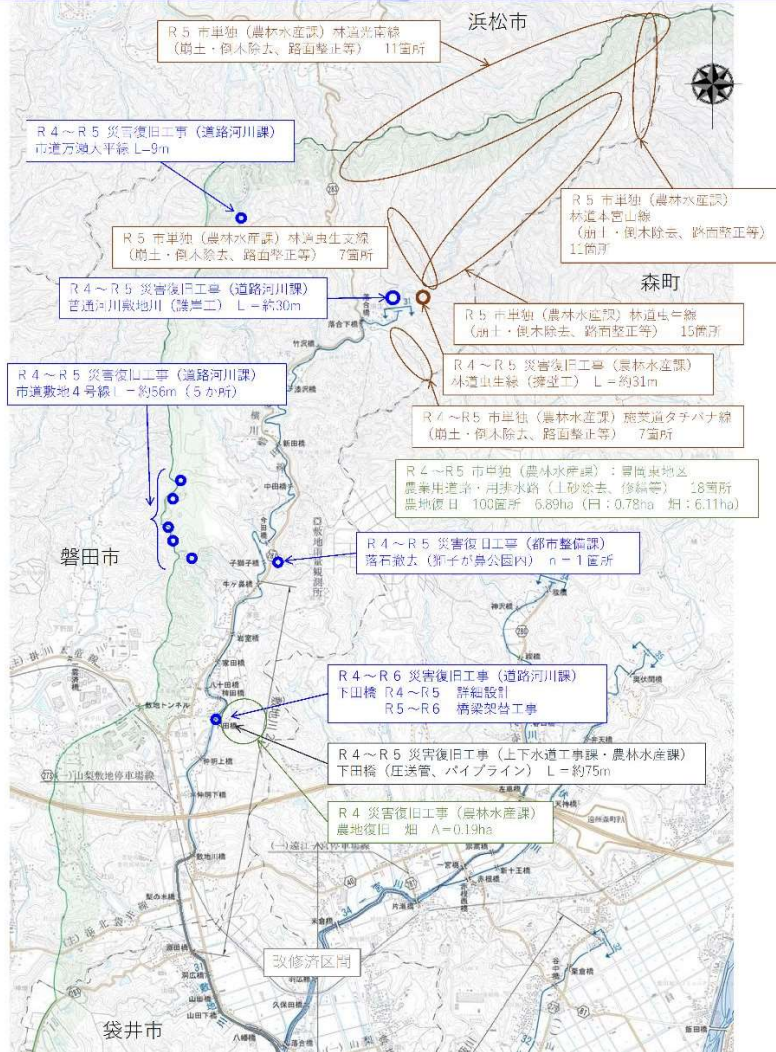
# 【参考資料】復旧状況及び改修計画 (袋井土木事務所・中遠農林事務所)



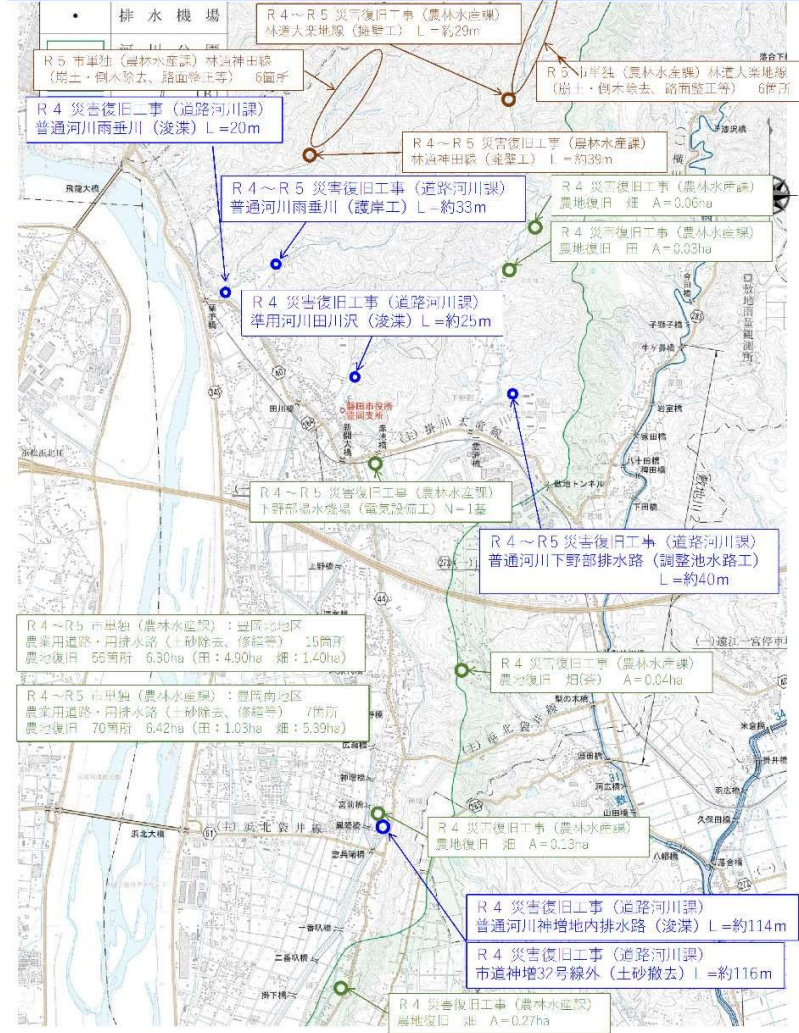


# 【参考資料】 復旧状況及び改修計画（磐田市）

台風15号 災害復旧工事箇所図（豊岡東地区）【磐田市】



台風15号 災害復旧工事箇所図（豊岡北・南地区）【磐田市】



磐田市



# 【参考資料】 復旧状況及び改修計画（磐田市）

台風15号 災害復旧工事箇所図（磐田地区）【磐田市】



台風15号 災害復旧工事箇所図（福田地区）【磐田市】

